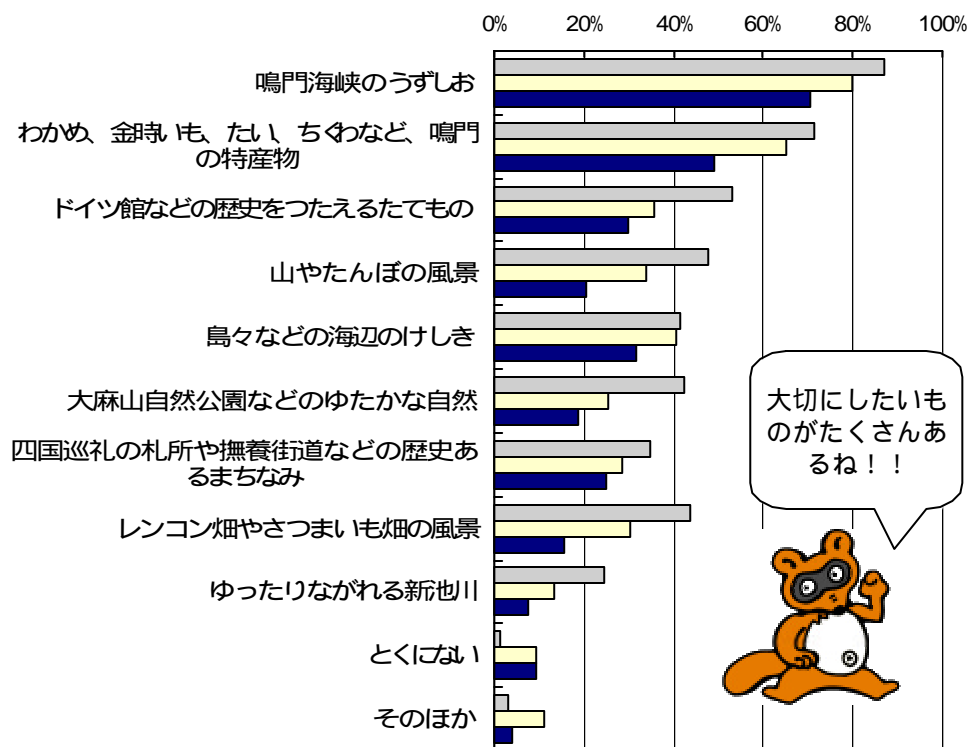




“うずしお”は鳴門の自慢！

なるとの自慢として、うずしおが一番多く選ばれました。それ以外には、「なるとの花火」、「いなかなのがいい」、「もっとじまんでできるものをふやしたい」などの意見がありました。

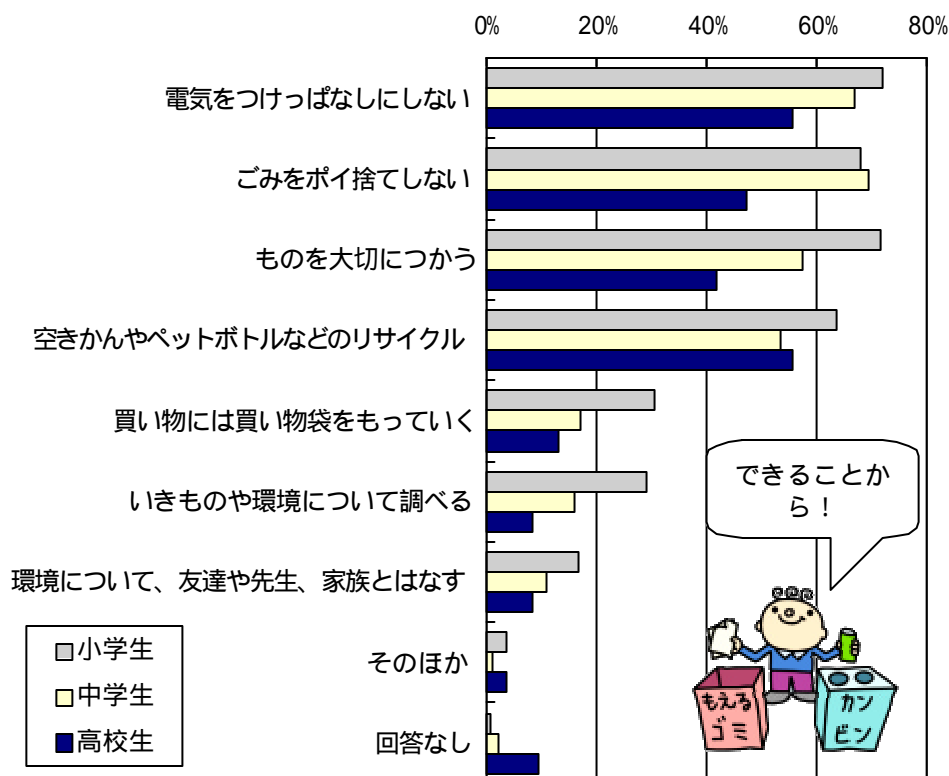


大切にしたいものがたくさんあるね！！



こんなことならできるよ！

「環境をよくするためにできそうなこと」で一番多かったのは「電気をつけっぱなしにしない」でした。みんなは、どんなことやっているかな？

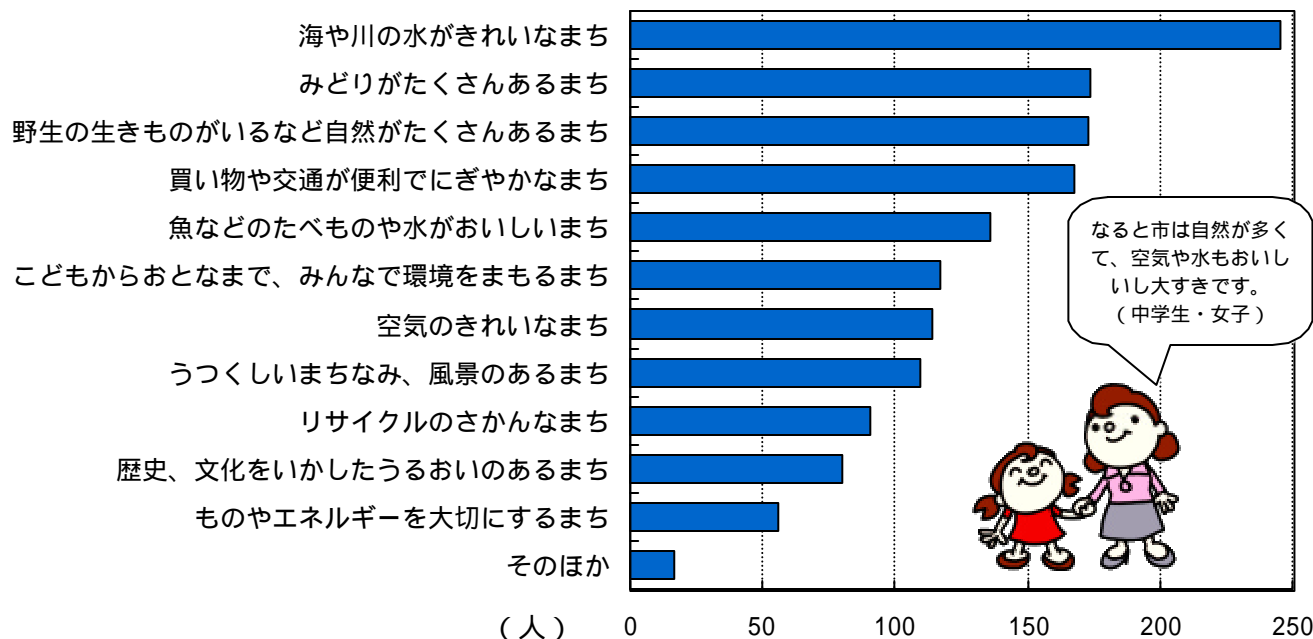


できることから！

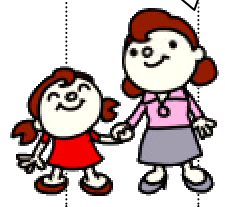


『海や川がきれいなまちがいいな！』

「50年先のなるとはどんなまちになってほしい？」という質問では、「海や川の水がきれいなまち」とこたえる人が一番たくさんいました。



なると市は自然が多くて、空気や水もおいしいです。（中学生・女子）



この「なると環境新聞」の創刊号（一般大人むけ）を市役所や公民館で配っています。家族の人にもおしえてあげてね！！ 次の号は春（4～5月頃）の予定です。



なるとの自然

カモ

さむ～いきせつ。旧吉野川やウチノ海にたくさんのカモたちがやってきます。どんなカモがいるかな。おどかさなないように、そっと見てみよう。

どこからくるの？

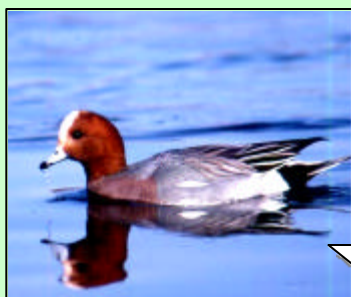
何千キロもはなれた遠いシベリアから、冬をすごしにきてるんだ。

どうやって見わけくの？

羽や目の色、くちばしの形や色が見わけのポイント。オスはどの種類もカラフルでおしゃれだから、見わけやすいよ。

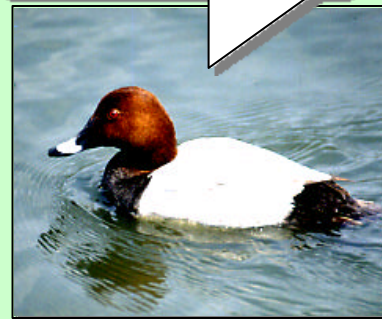
なにをたべてるの？

水草や水の底にすんでいるエビやカニ、水の中のプランクトンなど、種類によってたべるものはいろいろ。



ヒドリガモ

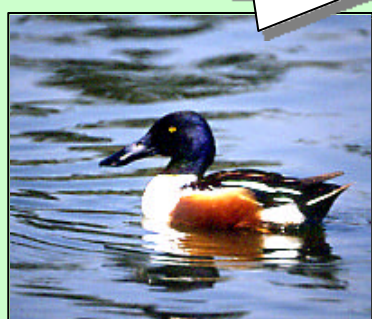
おでこがクリーム色のヒドリガモは、海そうも大すき。



ホシハジロ

ホシハジロのオスは目が赤色。底にいるエビやカニなどをとって食べるからせん水が上手なんだ。

なまめのとおり、ひらべったいくちばしで水面をくちばしですくいながらおよいでる。水の中にあるプランクトンをこして食べるんだ。



ハシビロガモ

オナガガモは、おばねが長くて首が白いスマートなカモ。よく頭を水の中につっこんでさが立ちして、水ぞこの水草などをさがしてるよ。



オナガガモ